

## CHALLENGE 2

一般社団法人コアプラス代表理事、コミュニティスペース《co-arc》オーナー、ファシリテーターをしています。どんな仕事をしているのか、これを聞いてもよくわからないと思います（笑）。コアプラスというのは、大学時代に仲間と立ち上げた、教育をテーマにしたNPOで、学校の先生たちをはじめ、教育やこどもに関わる仕事をしている人たち、教育に関心のある学生さんなどと一緒に、教育を学び合う場をつくっています。コミュニティスペース《co-arc》というのは、コアプラスが運営しているJR東淀川駅前にあるスペースで、イベントや勉強会に使うことができます。地域内外の人たちが、ここを居場所にし、新しい出会いを得、人生の楽しみを増やしてくれたらいいな、と思って運営しています。ファシリテーターというのは、「考えること・表現すること・コミュニケーションすることを促し手助けすることによって、人の内にある思いや力を引き出す」役割をする人のことです。人の話を聞いて考えを整理するのを手伝ったり、意見を言いにくそうな人がいたら質問をして聞き出したり、議論の時に論点を整理したり、会議や研修の進行をしたり、そんなことをしています。…やっぱりわかりにくいですね。こういうよくわからない生き方をしていると、よくわからない人たちとたくさん友達になります。世の中で「これが普通の人生」というコースを歩いていく以外にも、多様な生き方の選択肢もあるのだと日々実感でき、実際に「自分が自分らしく生きられる人生」を自分で追求して、創っていけることは、大変だけど何にも代えがたい幸せなことだと思っています。

もともと柴高に入ったのは、総合学科で自分の関心に合わせて授業が選べるところに魅力を感じたからです。中学時代から海外に関心があった私は、国際系列の授業を選択しました。また、人に興味があったので、心理や福祉系列の授業も選びました。**柴島のいいところは、いろいろなタイプの生徒が、それぞれにゆるやかに関わり合いながら、共に学校生活を送っているところだと思います。クラスにも趣味や考え方やそれまでの経験などの違ういろんな友達がありました。**

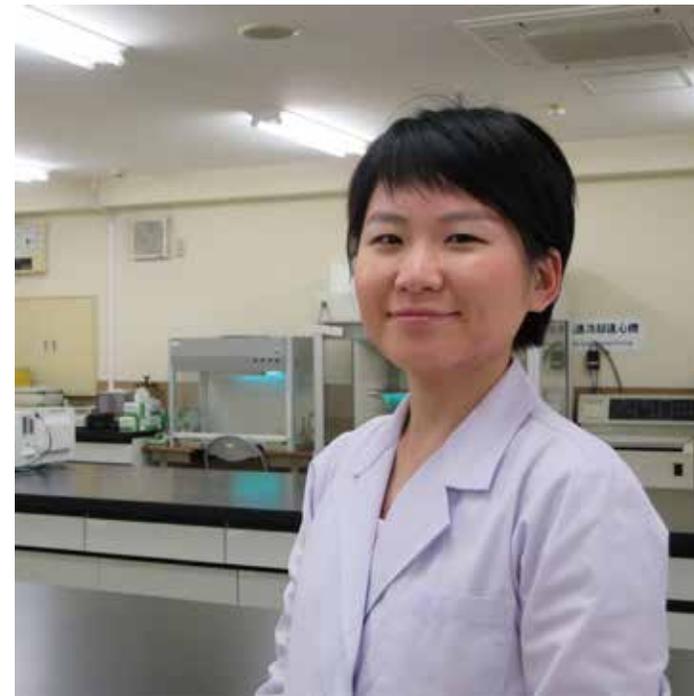
人生の転機になったのは、大学1回生の時に、NGOピースボートが企画する「地球一周の船旅」に参加したことです。世界と自分のつながりを実感し、またいろいろな角度から物事を見、自分の頭で考えることの大切さを痛感しました。大学卒業後、小学校教員（講師）を経て、箕面市にあるまちづくりのNPO・暮らしづくりネットワーク北芝に就職。4年間、地域教育チームのスタッフとして、こどもの居場所づくりや教育相談業務、遊びや学びのプログラムづくりなどを担当しました。2013年に退職し、現在はコアプラスの事業に代表理事として専念しています。

27期生

Midori Takeda

武田 緑

一般社団法人代表理事



専門学校講師

鈴木 恵

Megumi Suzuki

27期生

いまは専門学校で専任講師をし、化学やバイオに関する業界への就職を旨とする学生に、化学や環境全般について教えています。柴高卒業後は、大学、大学院に進学しました。環境問題や環境教育に興味があり、多分野にまたがる環境について、都市工学や生態学といった多様な視点から学ぶことができる龍谷大学に進学しました。同時に、かつての日本人の暮らしから持続可能な未来へのヒントを発信するNPOの関西支部を立ち上げ、大学に隣接する集落に通いながら自分自身の「環境教育」の形を探す活動も始めました。

実際に働いてみると、担任を持ったり、授業・実験の準備をしたり、楽な仕事ではないけど、誰かが成長していく姿を見ているのが好きで、それが支えになっていると思います。むしろ、一生懸命に目標に向かって頑張る学生から教えられることも多いし、もっともっと良い先生になりたいという原動力になっています。私自身が「先生と学生」というより、「人と人」という関係を重視しているからかもしれないですが、人間らしさを感じることでできる職場であると思います。

柴高入学当初から大学進学を考えていたので、選択科目は数学や英語や生物といった受験科目ばかりで、芸術系や農業系の科目を選択していた友人がすごく羨ましかったです。でも、**1年生の時に受けた「ライフプランニング」の授業で、自己分析をして、ふんわりとしか考えていなかった自分自身の将来を「真剣に考えなアカン」と教えてくれたのが大きかったです。そこから、ちゃんと目標を持って、そこに向かって何をしなければいけないか自分で考えるクセがつかましたし、今の職場でも学生に対して実践しています。人権学習や平和学習を通して、自分自身の考えを持つこととそれをディスカッションや文章などでアウトプットすることを学んだことも大きかったです。様々な立場の人のことを考える素地を養うことができたし、「過去があるから現在があって、未来につながっている」ということを、実感として学ぶことができました。**

そして、どんな生徒でも優しく迎え入れてくれた雰囲気心地良くて、「やってみたい!」と思ったことを後押ししてくれた先生方の存在がとても心強かったです。今も「先生」と聞いて思い浮かぶのは柴高の先生で、いつか私もそんな先生になりたいと思います。本当に感謝しています。

## CHALLENGE 3